

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	安全保障担当官会議参加費	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和40年度	担当課室	安全保障政策課	課長 伊澤 修			
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項第一号イ	関係する計画、通知等	官総第4383号、外総35号(平成5年7月26日) 防衛庁と外務省の間の今後の業務の進め方について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本件会議は、本省の安全保障政策担当者、在外公館の安全保障問題担当者及び防衛省関係者(防衛省経費負担)の間での意見交換を通じて、我が国の安全保障政策の企画・立案に活用することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	近年の我が国を取り巻く安全保障環境は激変しており、我が国の安全保障に影響する情報の的確な収集及び分析は、今まで以上に重要視される。 かかる観点から、本会議は、本省の安全保障政策担当者、在外公館の安全保障問題担当者及び防衛省関係者が一同に会し、我が国の安全保障政策や関係各国の安全保障問題を巡る動向等について幅広い意見交換を行い、それらの諸問題に関する認識の統一を図るものである。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	5	4	5	4	5
		補正予算	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	
	計	5	4	5	4	5	
	執行額	6	5	6			
執行率(%)	117.2	113.3	114.6				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	本会議は、年一回、本省の安全保障担当者、在外公館の安全保障担当者(含む防衛駐在官)間で幅広い意見交換を行い、我が国を取り巻く安全保障に関する諸問題に関する認識の統一を図るもの。		参加人数	外務省、防衛省、23カ国の在外大使館の防衛駐在官等、合計44名参加	外務省、防衛省、18カ国の在外大使館の防衛駐在官等、合計38名参加	外務省、防衛省、25カ国の在外大使館の防衛駐在官等、合計46名参加	外務省、防衛省、20カ国の在外大使館の防衛駐在官等、合計42名参加予定
	達成度	%	100	100	100		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	1月17日及び18日の2日間、外務省、防衛省、25カ国の在外大使館の防衛駐在官等、合計46名が安全保障担当官会議に参加し、安全保障に関する幅広い議題について、認識の統一を図り、各国からの防衛情報等の収集に寄与した。		活動実績 (当初見込み)	1	1	1	—
単位当たりコスト	各年度ごと、安全保障の観点から開催に適した場所を選定し実施しており、1回の安全保障担当官会議の開催のために約5,000～6,000千円の経費を支出(開催地により各年度ごと差がある。)。		算出根拠	会議1回を実施するのに要した費用			
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	外国旅費	928	1,361	開催地変更による増額			
	在外職員等旅費	3,545	3,889				
計	4,473	5,250					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本会議を通じて、本省及び在外公館の安全保障問題担当者及び防衛省関係者間の諸問題に対する認識は統一が図られており、我が国の安全保障に影響する情報の的確な収集及び分析に大いに寄与している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		－	
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

外務省
6百万円

本省の安全保障政策担当者、在外公館の安全保障問題担当者
及び防衛省関係者（防衛省負担）の間での意見交換を通じて、我
が国の安全保障政策の企画・立案に活用する



【出張者に直接支出】

A. 出張者36名
（本省からの出張者2名、在外からの出張者34名）
6百万円

安全保障担当官会議出張旅費を受領

資金の流れ
（資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する）（単
位：百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	安全保障担当官会議出張旅費を受領	0.7	—	—
2	出張者B	安全保障担当官会議出張旅費を受領	0.3	—	—
3	出張者C	安全保障担当官会議出張旅費を受領	0.2	—	—
4	出張者D	安全保障担当官会議出張旅費を受領	0.2	—	—
5	出張者E	安全保障担当官会議出張旅費を受領	0.2	—	—
6	出張者F	安全保障担当官会議出張旅費を受領	0.2	—	—
7	出張者G	安全保障担当官会議出張旅費を受領	0.2	—	—
8	出張者H	安全保障担当官会議出張旅費を受領	0.2	—	—
9	出張者I	安全保障担当官会議出張旅費を受領	0.2	—	—
10	出張者J	安全保障担当官会議出張旅費を受領	0.2	—	—